

普及活動情勢報告（令和4年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

セリの増収に向けて ～JA高知県四万十水耕セリ部会定例会～



水耕セリ部会定例会の様子

4月8日、JA高知県四万十支所販売課で水耕セリ部会の定例会を開催し、6名の参加がありました。

普及所からは、養液分析結果の報告とセリの種子発芽率向上試験についての提案を行いました。

参加者からは、発芽率向上試験について農家が再現できるような環境条件で行ってほしいとの要望をいただきました。

普及所は、今後もJA等関係機関と協力し、水耕セリの増収に向けて支援していきます。

地域の農業発展と課題解決に向けて ～高南地域営農協議会第3回幹事会～



幹事会の様子

3月23日、JA高知県四万十農協会館で、JA高知県、四万十町、中土佐町、普及所等で構成される高南地域営農協議会の幹事会が開催され、幹事17名が参加しました。

会では、4つの専門部会から令和3年度の事業実績及び4年度の事業計画等について報告し、内容について協議しました。

作物振興部会からは有望品目を検討するため行ったサトイモの試験結果で、大玉化及び増収効果がみられたことが報告され、今後栽培技術を確立していくことが確認されました。

普及所は、同協議会の事務局を担い、有望品目の検討等の課題解決を図ります。

IPM技術の普及に向けて ～興津地区でのミョウガ実証ほ設置準備～



防虫ネットを設置している様子

3月25日、JA高知県四万十興津地区で計画しているミョウガでの実証ほ試験「モトジロアザミウマに対する紫外線反射機能のある防虫ネットの防除効果の検討」の試験準備として、ネットの設置を行いました。

試験ほ場の生産者からは「効果があれば次年度に試験区以外のサイドにも設置したい」との声がありました。

今後調査を開始し、関係機関と情報を共有しながら試験を進めていきます。

経営改善・目標達成を目指して ～認定農業者の経営改善計画策定支援～



ヒアリングの様子

4月8日、12日、四万十町役場で認定農業者を志望している農業者に対して、農業経営改善計画策定のためのヒアリングを実施しました。

今回は再認定希望者4名と、新規認定希望者2名に対して現在の栽培面積や生産量、労働力などの聞き取りを行い、現状に基づいた具体的な方策について話し合いました。

普及所では、今後も関係機関と連携し認定農業者の計画達成に向けた支援を継続していきます。

目標収量を達成しよう！ ～セネガ現地検討会～



発芽程度を検討

4月11日、JA高知県幡多地区十和支所管内において薬草セネガの研究会の現地検討会が開かれました。今回は出席した5名の生産者のほ場を全員で巡回し、生産技術の再確認や検討を行いました。

経験が短い生産者はベテラン生産者のアドバイスを受け、全員で共有した目標収量の達成に向けて自己の栽培管理を見直していました。

普及所は減収の一因である地温上昇を抑制するためのマルチ資材の実証は設置を計画しており、今後の取組を説明し情報共有しました。

普及所は今後も本研究会やJAと協力して資材の調査を進めるとともに、生産技術の向上に向けて支援していきます。